平成12年11月 広報 Vol. 562

さめうら

11

2000 November



後継者の嫁不足が深刻化している中、
国際交流（中国）後継者花嫁対策事業が平成九年に始まった。
そして、はるか中国山東省から、国境を越えて五人の花嫁がやって来た。



宮燕



胥可霞

愛は国境を越えて…。

中国から来た５人の花嫁



劉衛栄



王昱



康紅春

実態の深刻さを数字が物語る。

30歳以上の男性の5人に1人は未婚者

下表は、国勢調査のデータを基に、三十歳から四十九歳までの未婚者数をまとめたものである。

昭和五十年の調査では、男性の総数六百九十九人に対して未婚者数が二十五人（三・六％）だったが、二十年後の平成七年の調査では、総数六百八十三人に対して未婚者数が百三十九人（二〇・四％）となり、なんと男性の五人に一人が未婚者であることが明らかになった。総数の減少はわずかであるのに対し、未婚者数は二十年前の五倍以上にも膨れ上がり、結婚難の深刻さを浮き彫りにした。

また、平成七年の未婚者数は男性が百三十九人に対し、女性は十五人と、男性の九分の一である。この数字から、男性に比べ、女性の絶対数が少ないことが分かる。

厳しい現実に国際結婚の道を選択

村では、平成七年に結婚相談員協議会[※1]を発足。また、媒酌人奨励金交付事業[※2]を開始した。さらに、平成八年には県南地区青年交流事業[※3]を五町村で実施するなど、結婚の促進に取り組んできた。しかし、国勢調査の結果からも分かるように、現実はかなり厳しく、国際結婚の促進に踏み切ることとなった。

平成九年、「国際交流（中国）後継者花嫁対策事業」がスタート。村内の未婚の男性後継者を対象に、中国女性との結婚を橋渡しするというもので、国際結婚に関する各種手続きはもちろんのこと、見合いや結婚式への随行なども行う。

この事業では、平成十一年度に中国山東省から五人の花嫁を迎えることができ、第一段階が成功のうちに終了することができた。

そして現在、第二段階に向けて希望者を募集している。

※1 結婚相談員協議会

農業委員会委員、行政区長、学識経験者などで構成。後継者の結婚難解消を図るため、結婚相談および仲介、結婚適齢者のデータ収集、国際結婚に関する調査および情報の収集など、さまざまな活動を行っている。

※2 媒酌人奨励金交付事業

結婚後、引き続き村内に居住する後継者の結婚を仲介し、成立させた媒酌人に対し、次のとおり奨励金を支給している。

①村内から配偶者を媒酌したとき…2万円
③村外から配偶者を媒酌したとき…3万円

※3 県南地区青年交流事業

鮫川村、棚倉町、浅川町、表郷村、東村の5町村で実行委員会を組織。独身男女（男性は5町村の居住者、女性の居住地は不問、男女とも年齢は不問）を対象に、スポーツイベントや1泊旅行、クリスマスパーティーなどを企画し、交流を図っている。

愛は国境を越えて…。

■村内の年齢・男女別未婚者数

単位：総数・未婚＝人、割合＝％

年	性別	30～34歳			35～39歳			40～44歳			45～49歳			計		
		総数	未婚	割合	総数	未婚	割合	総数	未婚	割合	総数	未婚	割合	総数	未婚	割合
昭50	男	119	11	9.2	155	5	3.2	190	6	3.2	235	3	1.3	699	25	3.6
	女	113	5	4.4	157	4	2.5	223	2	0.9	269	1	0.4	762	12	1.6
昭60	男	222	43	19.4	166	20	12.0	120	4	3.3	155	4	2.6	663	71	10.7
	女	189	6	3.2	113	3	2.7	111	4	3.6	151	3	2.0	564	16	2.8
平2	男	176	59	33.5	215	34	15.8	175	19	10.9	115	4	3.5	681	116	17.0
	女	159	9	5.7	179	3	1.7	118	2	1.7	116	4	3.4	572	18	3.1
平7	男	130	53	40.8	163	37	22.7	216	25	11.6	174	24	13.4	683	139	20.4
	女	124	4	3.2	159	6	3.8	179	3	1.7	115	2	1.7	577	15	2.6

（国勢調査データから）

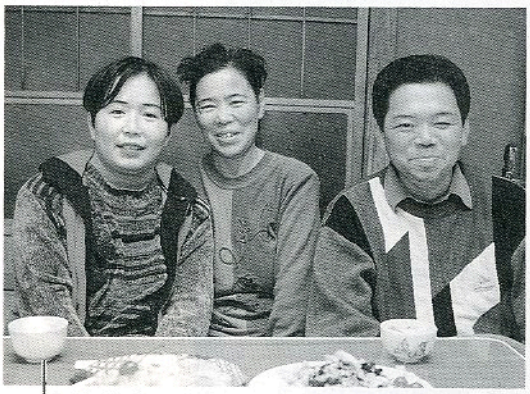
カップル登場

国際交流（中国）後継者花嫁対策事業でめでたく結ばれた５組のカップルを紹介



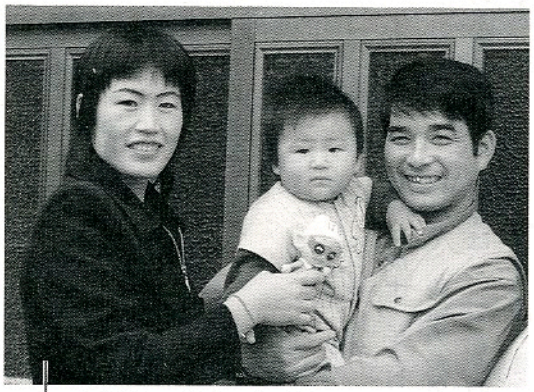
下重金一さん（45歳）
幸子さん（34歳、中国名：王昱（ワンユイ））

渡瀬字関口在住。平成11年３月８日結婚。夫婦で鮫川ファームに勤務。幸子さんは料理講習会の講師を務めたり、ＪＡ主催のカラオケ大会の地区代表として活躍。



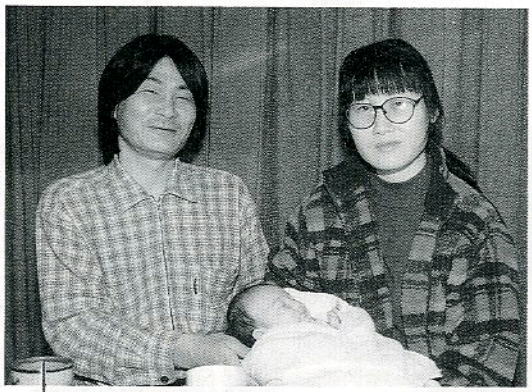
佐藤義雄さん（40歳）
榮子さん（35歳、中国名：劉衛栄（リィウウェイルウォン））

赤坂西野字火打石在住。平成11年３月８日結婚。榮子さんは鮫川縫製（有）に村営バスで勤務。休日は２人で温泉やボウリング場に出かける。〔写真は母・米子さん（中央）と一緒に〕



生田目一宏さん（39歳）
宮子さん（30歳、中国名：宮燕（クゥオンイェン））

西山字辺栗在住。平成11年３月12日結婚。平成12年１月19日に長男の大輔くん誕生。
（詳細は６・７ページで紹介）



大竹洋平さん（38歳）
康子さん（33歳、中国名：康紅春（カンフォンチュウン））

古殿町松川在住。平成11年５月12日結婚。平成12年９月22日に長女の亜美（あさみ）ちゃん誕生。康子さんは古殿町のアスター工業に勤務（現在は産休中）。



関根　啓さん（44歳）
霞さん（28歳、中国名：胥可霞（シュコォシィア））

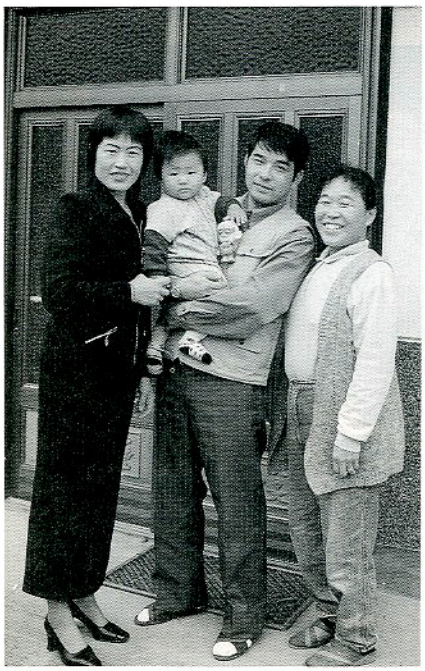
西山字戸倉在住。平成11年８月20日結婚。平成12年８月24日に長女の美可ちゃん誕生。霞さんは古殿町のアスター工業に勤務（現在は産休中）。

生田目家の生活に密着

俺にはもったいないくらい、いい嫁さんです。

海外から花嫁を迎えるということは、想像以上に大きな決断が必要だ。なぜなら、言葉や生活習慣の違いなど、あまりにも大きな壁が待ち受けているからだ。本人はもちろん、家族の決断でもある。

ここでは、後継者花嫁対策事業で、中国から花嫁を迎え入れた家庭の生活ぶりに密着。生田目一広さん（西山字辺栗）の家族を取材した。



長男の大輔くんが誕生し、にぎやかな毎日を過ごす生田目家。日常会話は、大輔くんの話題が多い

■

生田目さん宅の玄関を開けると、にぎやかな笑い声が響いていた。今年の一月十九日に誕生した大輔くんを囲みながら、なごやかに一家団らん。なんともほほえましい光景だ。

生田目一広さん（三十九歳）と宮子さん（三十歳、中国名＝宮燕）は、平成十一年三月十二日に結婚。そして、待望の長男が誕生した。現在は、一広さんの母・ハルイさん（六十六歳）を含め、四人で生活している。

「子どもが成長するにつれ、父親になったという実感が出てきましたね」と、一広さんは目を細める。

一方、ハルイさんは、「子どもがいると、大人の十倍はにぎやかだね。子どものことで会話も弾むし、家の中が明るくなったよ。やっぱり孫はかわいいですね」

■

宮子さんは現在、子育てと家事の傍ら、日中はハルイさんの畑仕事を手伝っている。ハルイさんが運転免許を持っているということもあり、買い物などの日常生活ではいつもハルイさんと宮子さんは行動を共にする。

初めはさまざまな不安があったと話すハルイさんだが、今では日常会話については、ほとんど問題はないという。

「素直に話をきいてくれるしね、毎日がとても楽しいよ。最近では（宮子さんが）冗談も言うようになったし」

仕事の関係で、帰宅の時間がまちまちだという一広さんは、「母親がいるので安心して働けます。自分が親となって、親のありがたさが分かるようになりました」と、しみじみと語る。



地元馬場集落婦人会主催の料理講習会で、本場中国のギョウザ作りを指導する宮子さん。「とても気さくで、何事にも熱心」と、同婦人会長の圓井智子さん（西山字鬼越・写真左）は宮子さんを評価する



ハルイさん(右)の畑仕事を手伝う宮子さん(左)。「本当の娘のようです」と、ハルイさんはうれしそうに話す

地域では、料理講習会の講師となり、ギョウザ作りの手ほどきをしている宮子さん。本場中国の味はなかなかの評判だ。

「近所の人が気軽に遊びに来てくれるし、面倒をみてくれるのでありがたいですね」

ハルイさんと宮子さんは顔を見合わせる。

■

若いころから何度かお見合いもしたが、良縁に恵まれなかったという一広さん。国際結婚を選択したのは、決して妥協したわけではない。

「少し離れた所からお嫁さんが来たという感覚ですね。俺にはもったいないくらい、いい嫁さんです」

また、中国に住む宮子さんの両親も、「娘が選んだ道だから、幸せになってほしい」と、快く結婚を承諾したという。

言葉や生活習慣といった大きな壁は、まだ完全に乗り越えたわけではない。しかし、本人の努力、家族や地域の愛によって、少しずつでも確実に、乗り越えようとしている。

「みんな優しくて、今、とても幸せです」

取材中、宮子さんは終始、笑顔を絶やさなかった。

愛は国境を越えて…。

インタビュー

本気で結婚を考えている人 気軽に相談してください。



金澤　省道さん

かなざわ・よしみち　昭和３年生まれ。赤坂中野字新宿在住。平成８年から村農業委員会長として活躍。中国出身のお嫁さんには「日本のパパ」と呼ばれ、信頼も厚い。

嫁不足――。

深刻な問題です。特に四十歳代になると縁遠くなり、少子化にも一層拍車がかかってしまいます。

全国的に嫁不足といわれている中、村では、農業委員会が中心となって、三年ほど前から「国際交流（中国）後継者花嫁対策事業」として、中国出身の女性との国際結婚を推進。これまでに五組の結婚が成立し、三組の間に待望の赤ちゃんが生まれました。家族の方々の喜びはいかばかりかと思います。

初めての土地で暮らすことに不安はつきものです。しかし、それは国内から嫁いでも同じこと。家族の理解と本人の努力によって、徐々に解消されていくものです。

村では現在、中国出身で赤坂西野在住の鈴木恵子さんにお願いし、中国から来たお嫁さんの支援活動として、さまざまな悩みごとの相談に応じてもらっています。お陰様で、今では日本の言葉や習慣にも慣れ、家族はもちろん、地域にも溶け込んで、育児や仕事に頑張っています。みんな明るく、器量のいいお嫁さんです。

村内の未婚者数が年々増える傾向にあります。「結婚したいが縁がない」「国際結婚には踏み切れない」などといった理由があると思いますが、本気で結婚を考えている人は、近くの結婚相談員か農業委員会事務局に気軽に相談してください。

私たちは、一人でも多くの方々の幸せを願い、支援していきたいと考えています。

私もひとこと

国際結婚の家族を応援します



矢吹孝子さん

生活習慣、言葉の表現が違う人間同士が同居する――。それは、日本人同士でもよくある話です。私も県外から嫁いできたので、初歩的な鮫川方言を理解するのに随分時間がかかったこと、今でも鮮明に覚えています。

料理方法、育児方法、家の生活のリズム、金銭的やりくり、つきあい方など、一番良い状態、つまり、互いが互いを認め、許し合えるラインを見つけるためには、日本人同士でも親、夫、本人が共同生活をし、手さぐりをしながら長い月日をかけて見いだしていくものです。結婚した相手

愛は国境を越えて…。

周囲の皆さんの優しさと、温かい支援が必要です。



鈴木　恵子さん

すずき・けいこ　1957年生まれ。中国上海出身。赤坂西野字西在住。中国名は張恵珍。現在、中国出身者の支援活動員として活躍。夫の信義さんと共に古殿町の中華料理店に勤務。

私は、十二年前に日本に来て、東京で生活していました。その間に夫と知り合い、二年ほど前から鮫川村に住んでいます。

初めは、日本の習慣が合わなかったり、田舎の暮らしがさみしくて泣いたこともありました。しかし、今は夫の優しさと周囲の人たちに支えられ、毎日楽しく生活しています。また、仕事が忙しくて泣いている暇などありません。

私は、今年の二月から、中国出身のお嫁さんの支援活動として、言葉や生活習慣に関する悩みごとの相談に応じています。やはり、初めは日本の言葉や習慣を理解するのには時間がかかります。ちょっとした勘違いや解釈の違いで、さまざまなトラブルが起こってしまいます。しかし、それは当然のことです。中国人同士でも、難しいことなのですから…。お互いに理解し合うこと。そして、問題はその日のうちに解決し、次の日に持ち越さないことが大切です。

また、お嫁さんは、周囲の人たちと進んで交流し、地域に溶け込んでいくことで、生活が一層楽しくなると思います。そのためには、旦那さんはもちろん、家族の皆さん、地域の皆さんの優しさと温かな支援が必要です。どうかお嫁さんの力になってあげてください。

私と同じ中国出身のお嫁さんが、一日も早く日本の言葉や生活に慣れ、楽しく暮らしていけるよう、できる限り手助けしていきたいと思っています。

※国際交流（中国）後継者花嫁対策事業に関するお問い合わせは、村農業委員会事務局（☎４９－３１１１、内線２４５）まで。

がたまたま海外出身だっただけのことで、人としての愛情も、信頼も、絆も、どの家庭にも決して勝るとも劣らないと思います。

今、三十五人に一人の子どもが、両親のどちらかが百パーセントの日本人ではないそうです。一クラスに一人いるのはごく自然なことなのです。

強い決意と深い愛で国際結婚をされたのですから、どうぞ自信を持って頑張っていってください。お嫁さんも、時には実家へ電話したくなることもあるでしょう。また、何かの折に実家へ足を運ぶこともあるかもしれません。

家族の皆さんは、お嫁さんを思いやる気持ちはあると思いますが、どうぞ、生きがいや活躍の場を与えられますよう心から願っています。私も人として、女性として、国際結婚の家族を応援したいと思います。■

やぶき・たかこ　昭和四十二年生まれ。赤坂東野字蕨ノ草在住。十五歳のころから四年間、台湾人と文通。現在は、ブラジルやタイ出身者と交流を続けている。国際交流歴十七年。

むらのできごと

広報にあなたの写真が載りましたら、さしあげますのでご連絡ください。
（☎49－3111　内線214）



ボクたち未来の消防士



さあ、急いで避難

火遊びはしません

鮫川保育所で模擬防火訓練

鮫川保育所では11月７日、棚倉消防署鮫川分署と合同で模擬防火訓練を行いました。

初めに、万一の火災に備えて避難訓練を実施。続いて、消防車による消火作業の様子を見学しました。子どもたちは、間近で見る消防車の迫力に、歓声を上げながら見入っていました。

また、「火災を起こさないように気をつけましょう」という署員の話に「火遊びは絶対にしません」と大きな声で答えていました。

走ることが好きなんです

ゆうあいピックで関根さんが快挙

十月二十一・二十二日の両日、岐阜県岐阜市で開かれた第九回全国知的障害者スポーツ大会（ゆうあいピック岐阜大会）の陸上競技に鮫川たんぽぽの家の関根明さんが出場し、三種目入賞という快挙を成し遂げました。

関根さんは、福島県代表として出場したもので、千五百㍍走で七位、四百㍍リレーで六位、八百㍍走では四位と健闘。

十月二十五日、入賞を報告に役場を訪れた関根さんは、「走ることが好きなんです」とニッコリ。



３つのメダルを手にニッコリの関根さん



美しいハーモニーが披露された学級対抗の合唱祭

思い出よ永遠に…

鮫川中で「壇の岡祭」を開催

「Memories　～私達の思い出よ永遠に～」をテーマに、鮫川中学校の校内文化祭「壇の岡祭」が10月22日に行われました。

各学級の代表による意見文発表会、学級対抗の合唱祭、「お昼の３分クッキング」と題した野外炊飯、壇の岡スポーツ・フェスティバルなど、年に１度の祭典は、生徒らの創意が結集した盛りだくさんのプログラム。

閉祭式では、全校生でファイアーストームを囲み、今世紀最後の「壇の岡祭」は、感動の中に幕を閉じました。

健康について考えました

ウォーキング鮫川とひまわりの会

ウォーキング鮫川（水野博和会長）と食生活改善推進員ひまわりの会（藤田初枝会長）は10月31日、健康教室と芋煮会を村民保養施設「さぎり荘」で行いました。

健康教室では、今年三月まで県スポーツ健康課に勤務していた東白川農商高校鮫川分校の吉田政勝分校長を講師に迎え、「栄養と運動」をテーマに講話を実施。日ごろの生活習慣の大切さについて学びました。

引き続き、野菜をふんだんに使った芋煮鍋を囲みながら、和気あいあいと健康談義に花を咲かせていました。



健康講話に熱心に耳を傾ける参加者

村政とぴっくす・村政とぴっくす・村政とぴっくす・村政とぴっくす・村政とぴっくす・村政とぴっくす・村政とぴっくす・村政とぴっくす



戸倉の里にトイレ設置

戸倉の里（西山）の公衆便所がこのほど完成しました。同地区を訪れる観光客が年々増えていることから、（財）自治総合センターのコミュニティ助成事業（宝くじ普及広報事業）の補助を受けて設置したもので、事業費は約270万円です。



水道施設が着工

10月20日、西部地区および塚本地区の用水施設（水道）の安全祈願祭をそれぞれの現地で実施。受益者や工事関係者などが出席し、工事中の無事故を祈願しました。両施設とも平成13年度末の完成、平成14年４月から供用開始を予定しています。



分校旋風に湧いた3日間
鮫高野球部、堂々の準優勝

ルポ Reportage
東北地区高等学校軟式野球大会

「分校旋風」の文字が新聞紙上を飾った。十月二十七日から三十日まで宮城県で開かれた東北地区高等学校軟式野球大会で、東白川農商高校鮫川分校（以下、鮫高）野球部が、初出場で見事準優勝を果たした。

県大会制覇と東北大会への切符。全校生九十三人、野球部員十三人という小さな分校の野球部が、大きな栄光を手にしたのは十月初旬の県大会。そして好調を維持したまま迎えたのが今回の東北大会だ。

2試合連続の逆転劇 チームのムードも最高だ

十月二十八日、すっきりと晴れ渡った秋空が鮫高ナインを迎えた。二回戦からの出場となった鮫高の初戦の相手は、優勝候補の能代高校（秋田）だ。「初戦を突破すれば何とかなる」という橋本監督の言葉を選手たちは信じた。

初回、一点を先制された鮫高はその裏すかさず同点とし、六回に勝ち越し。先発の根本投手が能代打線をわずか三安打に抑え、好スタートを切った。

決勝進出をかけた十月二十九日の田名部高校（青森）との準決勝。序盤に二点をリードされたものの、七回に一挙三点を挙げ逆転。わずか二安打で勝利をもぎ取った。今度は自分たちの力、そして勝利を信じ、最後まであきらめなかった。

二試合連続の逆転劇。チームのムードも最高だ。

無念の敗戦 肩を落とす鮫高ナイン

十月三十日、いよいよ決勝戦。相手は、宮城県第一代表の仙台育英高校を準決勝で破り波に乗る、宮城県第二代表の東北学院高校だ。

連戦の疲れはさすがに隠しきれない。鮫高ナインに守りのミスが続く。そして、ミスが失点へとつながる。攻撃では、打線が続かずチャンスをものにできない。六回に執念で一点を返したものの、反撃はここまでだった。

一対六、無念の敗戦。試合終了のサイレンが無情にも鳴り響く。ベンチに戻ってからも、悔し涙を抑えることができない。

「さあ、胸を張って。今度は絶対勝てるから」

ガックリと肩を落とす選手たちに、監督はそう言い聞かせた。

熱気を増す応援席 選手たちの力になれるなら…

生徒をはじめ、大勢の父兄やOBも連日応援に駆け付け、選手たちを後押しした。また、学校側では、野球部のモットーである「エンジョイ・ベースボール」の文字に願いを託し横断幕を作製、選手たちにエールを送った。

声がかれてもいい。選手たちの力になれるなら…。一試合ごとに応援席も熱気を増した。

決勝戦終了後、応援席では女子生徒のすすり泣く声が聞こえる。生徒たちの応援もまた、堂々たるものだった。負けた悔しさは選手たちと同じだ。

流した涙は無駄にはしない 無限の可能性を信じて

表彰式では、優勝した東北学院に勝るとも劣らない、いや、それ以上の拍手が選手たちに送られた。

東北大会の歴史に「鮫川」の名を刻み、多くの人たちに夢と希望を与えてくれた鮫高野球部。

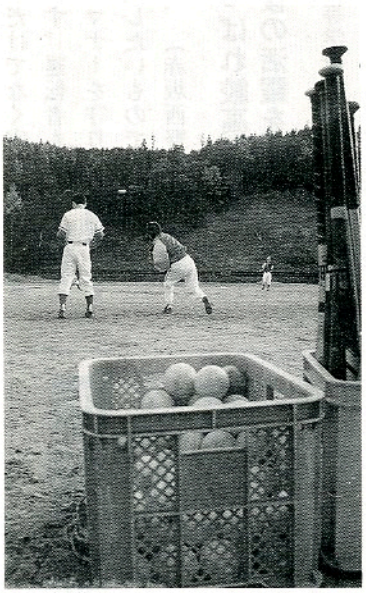
「東北では勝てることが分かった。来年は全国大会出場、そして優勝だ」

大会後のミーティングでは、全国制覇という新たな目標を掲げ、さらなる飛躍を誓った。

流した涙は決して無駄にはしない。無限の可能性を信じ、鮫高野球部は新たなスタートを切った。



分校旋風を巻き起こした鮫高ナイン。東北大会初出場で準優勝という快挙を成し遂げた



目標を全国大会に定め、鮫高ナインは新たなスタートを切った





大会のひとコマ。選手と応援団が一つになって、素晴らしい試合を繰り広げた



みんなのページ

PAGES FOR EVERYBODY

村民の皆さんが作るページです。
村づくりに関する意見、質問、提案(アイディア)
感激した話、ほほえましい話など……
ハガキや封書、ファックスでお寄せください。
ただし、中傷や営利を目的としたものは
ご遠慮ください。
「テーマにひとこと」も下記のあて先へ。

●

〒963-8401　大字赤坂中野字新宿39-5
鮫川村役場「広報さめがわ」みんなのページ行
☎49-3111（内線214）　FAX 49-2651

声 Voice

夜道のウォーキング マナーを守って安全に

最近、ウォーキングで健康づくりをしている人を多く見かけます。これは大変良いことであり、私もぜひ見習いたいものです。しかし、交通事故には十分気をつけてください。歩行者にもマナーがあるということを忘れないでください。夜道を数名で歩いているようですが、二列あるいは三列になって歩くのは非常に危険です。自動車が近づいているにもかかわらず、平然と歩いているではありませんか。夜光反射材を着用していても意味がありません。運転者が歩行者に気づかなかったり、気づくのが遅れたりしたら、事故になりかねません。交通事故は、当事者だけでなく家族も不幸になります。運転者も歩行者も最低限のマナーを守り、交通事故を防止したいものです。

（赤坂西野在住・匿名）

あっぱれ鮫高野球部 今後の活躍を願う

高等学校軟式野球東北大会で、鮫川分校野球部が見事準優勝を果たした。あっぱれ。一村民として大変うれしく、誇れることである。本当におめでとう。これは、監督をはじめ選手諸君の努力にほかならない。やればできるということを証明してくれた。また、われわれ村民に自信と希望を与えてくれた。これからは追われる立場になると思うが、楽な気持ちでさらに上位を目指してほしい。選手諸君のますますの活躍を心から願う。

（匿名）



これは縁起がいい 紅白(?)のサツマイモ

西山字沼野沢の本郷千代さん(67歳)は、今年収穫したサツマイモに感激しています。長さ30㌢、直径10㌢ほどのサツマイモに、幅5㌢ほどの白い縦じま模様がくっきり。農業改良普及センターに尋ねたところ、これは大変珍しく、50年以上も栽培している本郷さんも初めてとのこと。「紅白だけに縁起がいい。何かいいことありそう」と本郷さん。

お知らせ

12月1日は 世界エイズデー

今、日本では、毎月約30人のエイズ患者が報告されています。

HIV感染者、エイズ患者は増加しています。性的接触以外の日常生活では、まず感染の心配はありませんが、特別な人だけが感染するわけではありません。

決して他人事ではなく、あなたやあなたの大切な人のためにも、エイズについて正しい知識を持つことがエイズ予防の第一歩です。

県南保健所では、匿名でエイズに関する相談・HIV抗体検査（血液検査で感染の有無が分かります）を受け付けています。エイズに関する悩みは、まずはご相談ください。

▼エイズ相談・検査申し込み専用電話：0248-22-6405（月曜から金曜の午前8時30分～午後5時）

▼HIV抗体検査（予約制）：昼間＝毎週水曜日の午前9時～11時、夜間＝毎月第2・4火曜日の午後5時15分～8時30分

◎問い合わせ　県南保健所疾病対策係（☎0248-22-5441）



スマイル・すまいる・スマイル・すまいる・スマイル・すまいる・スマイル

テーマにひとこと

今月のテーマ／親と子の関係

▼私は親、子どもが二人います。過保護と放任のバランスは難しいですね。子どものことを心配しない親はいませんが、ちょっと口をはさむと、子どもは「干渉」だと思うのでしょう。しかし、親の権限の範囲である限り、干渉という言葉は当てはまらないと思います。永遠に親子の関係は続くのだから、いつまでもいい関係でいたいと思います。

（匿名・女性）

▼来年、待望の第一子が誕生する。これからは親の立場になる。初めての経験であり、未知の世界だ。今まで、親の立場で物事を考えたことがない。かといって、子どもの気持ちだってそれほど分かるわけでもない。きっと、一人前の親にはなれないだろう。しかし、子どもにとって最高の親になれるように努力は惜しまないつもりだ。子どもと一緒に笑ったり、泣いたり、怒ったり、ときにはけんかもしながら、よりよい親子関係を築き、自らも成長していきたいと思う。

（餃子一人前の男）

▼現代は、親子のコミュニケーションが不足しているのでしょうか。共働き家庭の増加、さらに核家族化。子どもは学校から帰ると、テレビゲームに熱中。そして親は、仕事の疲れもあるせいか、子どもとのコミュニケーションが十分でない。最近は、太陽の下で思いっきりふれあう親子の姿が少ないような気がします。少年による傷害事件、幼い我が子を虐待するなどといった悲しい事件が次々と起こる昨今。社会全体において人間関係が希薄になっているのかもしれませんが、せめて親子の関係だけは、密接でありたいと願わずにはいられません。

（匿名・男性）

▼12月号のテーマ…さよなら二十世紀
締め切り／12月1日（金）
◎ご意見お待ちしています。

む・し・ば・の・な・い・こ

10月17日の3歳児健診で、むし歯がなかったお子さんを紹介します。
受診児8人中3人（38%）



芳賀 紅美（こうみ）ちゃん
赤坂東野字戸草



長久保直人（なおと）くん
渡瀬字青生野



下重なぎさ（なぎさ）ちゃん
渡瀬字関口

み・ん・な・の

伝言板

募集

■YOSAKOI（よさこい）踊り参加者を募集します

村商工会青年部では、「鮫川うつくしまYOSAKOI踊り隊」を結成。2001年に開催される「うつくしま未来博」出場に向けて、参加者を募集します。子どもから大人まで楽しく踊れる「YOSAKOI踊り」。皆さんの参加をお待ちしています。

参加資格…年齢・性別は問いません。ただし、幼児は保護者の付き添いが必要です／**参加費**…1,000円（鳴子代）／**練習日**…月2回程度（日曜日）／**申し込み・問い合わせ先**…村商工会☎49-2171、夜間・土曜・日曜・祝日＝須藤功☎49-3393

■独身男女交流・クリスマスパーティー参加者募集

主催…県南地区青年交流実行委員会／**日時**…12月10日（日）18:00～（17:30受付開始）／**場所**…新富家（棚倉町）／**対象**…独身男女（年齢は問いません）／**参加費**…2,000円／**申し込み・問い合わせ先**…実行委員・関根徳子（村農業委員会事務局内、☎49-3111、内線245）

■国際交流の仲間を募集中！

国際交流に興味のある方はご連絡ください。詳しくは矢吹孝子（☎自宅49-2440、携帯090-2367-2901）まで。

Tomodachi ni naritai desu.
Issyo ni ohanashi shimasenka.

催し

■桂銀淑　新春コンサート

日時…平成13年1月21日（日）昼の部＝14:00、夜の部＝18:30／**場所**…棚倉町文化センター「倉美館」／**入場料**…全席指定 6,500円／11月26日（日）午前9時から電話予約開始

◎**詳細**…倉美館（☎33-9610）

■シャンティクリアコンサート

日時…平成13年2月4日（日）13:30開演／**場所**…郡山市民文化センター／**入場料**…全席4,800円

◎**詳細**…郡山市民文化センター（☎024-934-2288）

地域の催しの案内、仲間づくりの呼びかけなど、掲載希望記事を募集します。総務課総務係（広報担当）までご連絡ください。

村民リレー

Vol. 31

長久保 誠一 さん

Seiichi Nagakubo

大字渡瀬字青生野在住



PROFILE

ながくぼ・せいいち　昭和34年生まれ、41歳。農業経営（認定農業者）。誠一さん夫妻と子ども３人、両親の７人家族。

農業を職業として

私が農業を職業として選んだのは二十三年前。当時は牛二頭、コンニャク、そ菜、水稲といった経営で、とても生活していくには困難でした。そのころ阿武隈開発が始まり、青生野は畜産基地として放牧地がたくさんできました。それから「青生野での農業は牛だ」と思い、二頭、三頭と増やし、現在では繁殖牛三十二頭、育成牛（繁殖基牛）六頭にまで増頭することができました。その他、トマト、水稲を作付けし、その合間に林業でちょっとした収入を得ながら生活しています。

この職業は、時間が自由である反面、朝夕の一時間から二時間は年中無休です。実際、高校・中学・小学生と三人の子どもを持つ親となっては、買い物、用足しぐらいは自由ですが、旅行や遊びに行くのは大変です。

これからは、三人の子どもの教育をいかに成し遂げるかが課題です。そのために村の農業、我が家の農業をどうしていったらよいのか。住みよい村、住みよい我が家を築くために、村、JA、そして専業農家の先輩方のご指導をいただきながら、頑張っていきたいと思っています。

次は、関根マリ子さん（赤柴）にバトンタッチ！

俳句

花芒気まぐれ風に追われけり　金沢　暁舟
木道の白き乾きに尾瀬は秋　中井　恒峯
一野火が育つ曇り日過疎進む　山本　朗史
めいめいに木の実持ち寄る秋灯下　矢部　正子
冬ぬくしゲートボールの声はずむ　鈴木　友蔵
もういい燃え尽きたサルビアの赤　斎須　信子
稲扱けば籾の袋の重かりし　小山田清哲
はぜかけの乾き遅かり残暑かな　北條素人坂
親離れ子離れ秋の草を抜く　黒田　寿香
稲架に囲まれほっとする田んぼ　山本五十鈴

短歌

放棄田に今を盛りと咲きほこる蛮入国のアワダチ草が　松本　一郎
阿武隈の山峡深く住みなれて煙草つくりの農に生きなむ　関根キヌ子
観光の旅立ち妻と二人連れグァム島行きの支度もそぞろ　北條　平
刈りとりし桔梗の芽が伸び秋深む今を二度目の花咲かせおり　水野　フク
注文の注連縄作りの手を休めばしきき入る鈴虫の声　鈴木　クニ
早朝の静けさの中ひびきくる山

うつくしま未来博
JAPAN EXPO IN FUKUSHIMA 2001
テーマは「美しい空間　美しい時間」

情報

県民ギャラリー
県民参加マルチスペース
参加者大募集!!

うつくしま未来博会場内「虹の大地」に、皆さんの参加によってつくりあげるスペース「県民ギャラリー」と「県民参加マルチスペース」が設けられます。

県民ギャラリー

皆さんのつくった作品を展示するためのスペースです。作品に込めた夢や心、そして日ごろの文化活動の成果を発表してみませんか。

応募資格　県内在住者および本県出身者で、創作活動を行っている団体・グループ・個人（プロ、アマチュアは不問）

展示内容　創作物であればジャンルは問いません。作品のテーマ・材料は自由

展示期間　未来博会期中、土曜日から金曜日までの1週間を1展示期間とします。

募集締め切り　平成12年12月25日(月)（当日消印有効）

県民参加マルチスペース

ワークショップや実演など、主に来場者との交流、ふれあいを目的としたさまざまな参加プログラムが展開できるフリースペースです。多くの人とふれあいながら、日ごろの活動などを発表・披露してみませんか。

利用資格　県内在住者および本県出身者であれば、年齢・性別を問わず、個人・団体・グループと参加形態は自由

利用サイクル　原則として3日間・4日間・7日間をそれぞれ1サイクルとします。

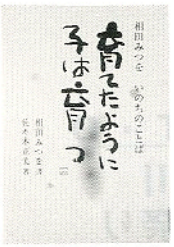
募集締め切り　平成13年1月31日(水)（当日消印有効）

■

■問い合わせ　〒963-8023、郡山市緑町3-10、「うつくしま未来博」県民ギャラリー・県民参加マルチスペース事務局、☎024-933-0098、ファクシミリ024-933-0079

新着図書

歴史民俗資料館図書室　☎49-3106



育てたように子は育つ（小学館）



トランプマンのマジック入門（岩崎書店）



ぼくのくれよん（講談社）

大人向け

■**育てたように子は育つ**（相田みつを書・佐々木正美著／小学館）
■**ダメなママでもいいじゃない**（子育てネット著／学習研究社）

幼い子どもを持つ親たちに、自然体の育児を勧める本が人気集めている。相談相手がいなくて漠然とした不安を抱える親にとって、先輩からの安らぎに満ちたアドバイス。

■**「寝かせきり老人」をつくる国日本　つくらない国北欧**（ツルネンマルティ、関寛之、吉田貢著／あすなろ書房）

社会福祉に対する世の中の受け止め方を改めていくこと。そのためには、福祉を新しい角度から見る必要がある。

児童向け

■**トランプマンのマジック入門**（トランプマン作／岩崎書店／全5冊）

トランプマンがこっそりおしえるマジックのたねあかし。さて、なにがでるのかおたのしみ。

■**おてがみもらった　おへんじかいた**（森山京作／あかね書房）

ウサギのおばさんの落し物をひろったクマの子は、おれの手紙をもらって大喜び。お返事をかきました。

絵本

■**ぼくのくれよん**（長新太作／講談社）

ぞうのくれよんは大きい、大きい。でも、描くたびに騒動が起こって…。

■**ボロ**（志茂田景樹／ポプラ社）

孤独な少女と学校に迷い込んだ捨て犬との心の交流と再生を描きます。

■**開館時間**　平日…午前8時45分～午後5時／土曜日…①5～10月＝午前8時45分～午後5時、②11～4月＝午前8時45分～午後零時15分

鳩の声今日は雨かも　岡部　シゲ
物余る世にはあれども芋がらを
軒下に下げ丁寧に干す　杉山　磯子
梨や林檎の歯触りのよし味覚にもどこか真夏の香り残して　関根　米子
地に植えしトランペットは花数も六十個という賑わいを見す　坂本　雪絵
待合室の退屈しのぎ歌一つ詠んでみようとペンをとりたり　蛭田　光江
梅の木に蔓絡ませて通草の実熟るるを待ちぬ老の楽しみ　鷲野谷　満
年に一度の逢いを愉しむ孫達の成長著くわれも老いゆく　岡部　光子
釈然としない友なり雪の野を歩む鷺よと見て帰りけり　斎藤　平四
燕の巣六個も営む軒先におはようの声かけては仰ぐ　阿久津夏子
豊作を喜ぶもののニュースには尚古々米の多々あるという　緑川　理羽
攻む野党守る与党の歯車の噛み合わなくて国護れるや　関根　儀光
二人居の女所帯は物騒と並べ置きたり男の下駄を　増子　紗久
小雨の中運動会は決行と雲を打つがに上がれる煙火　赤坂　朝子
掘り返す土に蚯蚓の太りおり生き返りたる土の精とも　須藤美代子

P・H・O・T・O

高原の鮫川
うまいもの祭り

人、集い 笑顔いっぱい。



6団体が出場した「よさこいソーラン鮫川大会」



力や技(?)を競った「ザ・チャレンジ」



約5千人が鮫川牛のバーベキューに舌鼓



さわやかな秋晴れとなり、絶好のバーベキュー日和となった十月十五日、秋の一大イベントとなった「高原の鮫川うまいもの祭り」が鹿角平観光牧場で開かれ、大勢の人出でにぎわいました。

村商工会などで組織する実行委員会の主催で、今年で十三回目。村内はもとより、県内外から家族連れや職場のグループなど約五千人が参加しました。

思い思いに秋の一日を楽しんだ「うまいもの祭り」。
会場いっぱいに笑顔の花が咲きました





いきいき生活、応援します。

く・ら・し・の情報

Information

電話番号
Telepone

役場	☎ 49-3111(代)
	FAX 49-2651
教育委員会	
学校教育課	☎ 49-3151
生涯学習課	☎ 49-2247
歴史民俗資料館	☎ 49-3106
公民館	☎ 49-2247
農業者トレーニングセンター	☎ 49-3295
国民健康保険診療所	☎ 49-2028
鮫川保育所	☎ 49-2056
鮫川保育所西山分室	☎ 49-2780
渡瀬保育所	☎ 48-2050
鮫川幼稚園	☎ 49-2358
学校給食センター	☎ 49-2113
交流施設 ほっとはうす・さめがわ	☎ 48-2555
高齢者総合福祉センター ひだまり荘	☎ 49-3600
村民保養施設 さぎり荘	☎ 49-2205

募集

写真展「さめがわ点描」
来年のテーマは「汗（あせ）」です

テーマ　汗（働く人、スポーツに打ち込む姿など「汗」にかかわる作品）
応募資格　鮫川村民、鮫川村出身者、鮫川村内勤務者
作品　カラープリント4ツ切サイズの一枚写真で、1人3点まで応募できます。
応募締め切り　平成13年10月末日（平成13年9月に応募用紙を配布します）
注意　▼応募者本人（ただし、職業写真家は除く）が撮影したもので未発表の作品とする▼被写体に人物が入る場合は承諾を得ること
賞　最優秀賞1点、優秀賞2点、入選数点
その他　作品は、第54回村文化祭で展示します。また、作品を村のピーアールのために活用する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
◎応募・問い合わせ先
企画調整課商工観光係（☎内線221）

最近の犯罪は、少年による殺人事件、悪質な異物混入脅迫事件、来日外国人による組織犯罪、金融機関を狙った強盗事件など、凶悪化・組織化・広域化・国際化が一層進んでいます。

警察では、事件の早期解決をめざして徹底した捜査活動を行っています。凶悪犯人を1日も早く検挙するために、皆さんのご協力をお願いします。

- 指名手配被疑者の検挙にご協力を。
- 「事件かな」と思ったら、迷わず110番通報を。
- 聞き込み捜査にご協力を。
- 被害にあったら必ず届け出を。

犯罪捜査にご協力を

棚倉警察署☎33-3241

農業

農地転用には許可が必要です

農地を農地でなくすこと、すなわち、農地を住宅や工場用地、道路、山林などの用地に転換することを農地転用といい、転用するには許可が必要です。

対象となる農地
すべての農地が転用許可の対象となります。地目が農地であれば、耕作されていなくても農地性（農地として活用できる状態）がある限り農地として扱われ、また、地目が農地でなくても、肥培管理がされていれば農地と見なされます。さらに、農地を資材置場や作業員仮宿舎、砂利採取場などとして一時的に利用する場合も転用になり、許可が必要です。

農業振興地域からの除外
農地転用をする場合、先に農業振興地域内農用地区域から除外しなければなりません。除外するには、除外申請書（農林課にあります）、計画書などが必要になります。

◎詳細　農業委員会事務局（☎内線245）

消防署からのお知らせ

高規格救急車が運用を開始しました

棚倉消防署では、10月1日から高規格救急車で救急救命士による救急救命処置の運用を開始しました。

募集

自衛隊生徒(中卒)

■**対象**／中学校卒業（見込み者を含む）17歳未満の男子
■**受付期間**／平成12年11月6日～平成13年1月5日
■**試験日**／第1次…平成13年1月7日、第2次…平成13年1月20～24日
■**入校**／平成13年3月下旬
■**修学年限**／4年（卒業時3等陸・海・空曹）

問い合わせ
自衛隊白河募集事務所
（☎0248-24-0372）

最低賃金の改正

10月1日から、県内の最低賃金が次のとおり改正されました。
1日…4,833円
1時間…606円（時間給労働者）

この最低賃金は、県内の事業所で雇用されるすべての労働者（パートタイマー、アルバイトを含む）に適用されます。

最低賃金より低い賃金を定めた場合、労使が合意していても無効とされ、最低賃金と同じ額を定めたものと見なされます。

■**問い合わせ**　福島労働局労働基準部賃金室（☎024-536-4604）または最寄りの労働基準監督署

福島県立農業短期大学校
平成13年度学生募集

■**募集人員**　本科…60名（農産学科15名程度、園芸学科30名程度、畜産学科15名程度）
■**出願資格**　高等学校を卒業した者または平成13年3月に卒業見込みの者
■**募集期間**　1次募集…11月22日(水)～12月1日(金)／2次募集…平成13年2月21日(水)～3月2日(金)
■**試験日**　1次募集…12月13日(水)／②2次募集…平成13年3月9日(金)

問い合わせ
福島県立農業短期大学校農学部
☎0248-42-4111(代)

年金教育資金貸付

ご利用ください　国の教育ローン

年金教育資金貸付制度は、厚生年金および国民年金に10年以上加入している方に対して、お子さんの入学時や在学中の教育費を低利で融資する制度です。

■**融資金額**　学生1人につき、①厚生年金加入中の方…100万円以内、②国民年金加入中の方…50万円以内
■**融資利率**　年2.40%（10月27日現在）
■**返済期間**　10年以内（据置期間は在学期間中）

申し込み・問い合わせ
〔社〕福島県年金福祉協会
☎024-522-2611

税金

サラリーマンの年末調整

年末調整は、毎月の給料やボーナスから差し引かれた所得税と1年間の給与総額に対する年税額との差額を精算するもので、サラリーマンにとっては確定申告に代わる大切な手続きです。

次に該当する方は、勤務先に「控除申告書」を提出してください。

▼扶養親族に異動があった方▼各種保険料の控除を受けようとする方▼配偶者特別控除を受けようとする方▼年の途中で給与の額に変更がある方

なお、平成11年以後の各年分の所得税については、所得税額からその税額の20%相当額（最高25万円）が控除される定率減税が実施されています。

◎**詳細**　白河税務署（☎0248-22-7111）

個人事業税の納期限は11月30日です

個人事業税は、県内に事業所や事務所を設けて販売業や不動産貸付業、請負業など一定の事業を営んでいる方に納めていただく県の税金です。

課税額が1万円を超える方には、11月中旬に第2期分の納付書が送付されますので、11月30日（木）までに最寄りの金融機関で納入してください。

口座振替を利用されている方は、残高確認をお願いします。

◎**詳細**　県南地方振興局県税部（☎0248-23-1514）

村税完納推進月間

村では、平成12年12月1日から平成13年1月31日までの2カ月間を「村税完納推進月間」として、村税の完納運動を展開します。

各種村税に未納がある方は、この期間中に完納してください。

◎**詳細**　総務課税務係（☎内線217）

高規格救急車　救急救命士が救急救命処置を行うために必要な構造および設備がある救急車。
救急救命士　救急救命処置を行う国家試験有資格者で、棚倉消防署に4名が配属。
救急救命処置　救急救命士が医師の指示のもと、必要に応じて行う心肺停止（呼吸停止、心臓停止）の傷病者に対する処置。
①除細動（心臓の震えを電気的刺激で取り除く）
②器具を用いた気道（肺に至る空気の通り道）確保
③静脈路確保（点滴）
このほか、精神科、小児科、産婦人科領域の処置を行います。
出動範囲　通常は棚倉町の全域に出動しますが、心肺停止の傷病者などで緊急に処置を必要とする場合は、白河広域市町村圏内（東白川郡、西白河郡、白河市）に出動します。
◎**詳細**　棚倉消防署（☎33-4522）

愛の献血

10月13日、㈱オーゼキ前、鮫川器機㈱前、役場前、東白川農商高校鮫川分校前、㈱泰斗前で献血を実施。次の方々からご協力をいただきました。ありがとうございました。　（敬称略）

200mℓ

石井哲（酒垂）石井輝明（塙町）遠藤友和（東村）遠藤千（古殿町）大森嘉幸（青生野）岡部千鶴（大竹）岡部憲勝（大竹）小山田里美（反田）金沢たよ子（西前田）久保木順子（古殿町）久保木美幸（古殿町）小泉正倫（茨城県大宮町）甲賀静江（棚倉町）小松圭子（大戸中）小松サツキ（大戸中）小峰里美（塙町）小峰ヨネ子（塙町）塩田さつき（広畑）塩田幸子（広畑）下重たつえ（関口）白坂澄江（茅）鈴木一男（塙町）鈴木靖子（蕨平）津田琢美（棚倉町）生田目光枝（小名沢）芳賀喜久江（中山）芳賀圭衣子（草木）芳賀みつ子（西野沢）芳賀芳恵（草木）蛭田里美（滝ノ下）蛭田文子（田野上）蛭田ます子（田苗下）蛭田美樹子（関口）蛭田みゆき（中野町）蛭田幸恵（田野上）広瀬修一（塙町）深谷兼次（塙町）船木博枝（反田）北條夏江（岨長）北條ひとみ（岨長）本郷まさ子（戸草）松本淳子（二反田）溝井祐美子（古殿町）森キイ子（遠ケ竜）森由美子（遠ケ竜）吉成昌文（塙町）我妻久子（落合）

400mℓ

石井豊（酒垂）小豆畑則雄（石川町）吾妻周平（表郷村）大森政樹（塙町）金澤満（西前田）佐川一男（内ケ竜）佐河好則（古殿町）鷺野谷弘行（二反田）佐久間浩二（東村）櫻岡友和（塙町）陣野原裕二（白河市）鈴木一寿（古殿町）鈴木初枝（新宿）高木頼子（薄ケ久保）高田三喜雄（東前田）津田彰夫（木之根）円井義人（芦ノ草）長井進（青生野）中川西智（森ノ前）中川西寿彦（内ケ竜）生田目次男（青生野）根本幸治（中沢）根本吉郎（中沢）藤田博文（関口）藤田美光（越虫）本郷光弘（古殿町）溝井賢一（新宿）矢内通（石川町）山口健二（棚倉町）渡辺秀樹（鍬木田）

成分

芳賀真一（福原）矢吹静（岨長）矢吹照子（塩倉）矢吹智広（塩倉）

保育所

平成13年度入所児童募集

平成13年4月から保育所に入所を希望する児童の申し込みを、次により受け付けています。

保育所の概要

①鮫川保育所　▼所在地…赤坂中野字新宿129▼定員…90人▼対象児童…おおむね2歳から就学前の児童▼開所時間…午前7時～午後6時30分

②渡瀬保育所　▼所在地…渡瀬字中野町113▼定員…45人▼対象児童…乳児（6カ月以上）から就学前の児童▼開所時間…午前7時30分～午後5時30分

受付期間　12月11日（月）まで

受付場所　住民課住民福祉係または各保育所

手続きに必要なもの　▼保育所入所申込書（住民課および保育所にあります）▼印鑑▼同居する家族の氏名・生年月日が分かるもの▼母親の就労状況を証明する書類（勤めている方は事業所の証明。自営業・農業などの方は地区民生委員の証明）

入所基準　児童の保護者が次のいずれかに該当し、家庭内で保育ができない場合…▼日中に家庭外で仕事をしている場合▼日中に家庭内で家事以外の仕事をしている場合▼母親がいない場合▼母親が出産や病人、障害者などの場合▼病人や障害者などの看護をしている場合▼家庭が災害にあった場合

その他　平成12年度から引き続き入所を希望する場合、申込書を提出する必要はありません。

◎問い合わせ　住民課住民福祉係（☎内線233）

環境

単独処理浄化槽は設置できなくなります

家庭などからの生活排水の垂れ流しは、河川などの水質汚濁の原因となり、公共用水域や生活環境に悪影響を及ぼします。

こうしたことから、生活環境保全のために法律の改正が行われ、平成12年12月1日以降に浄化槽を設置する場合、これまで認められていたし尿のみを処理する単独処理浄化槽は設置できなくなり、合併処理浄化槽の設置が義務付けられました。

なお、浄化槽を設置する場合には必ず、工事着手前に設置届を水道室水道係に提出してください。

また、平成12年度分の合併処理浄化槽設置補助金の交付枠が残りわずかとなりました。年度内に設置を希望される方はお早めに申し込みください。

◎詳細　水道室水道係（☎内線256）

相談

■心配ごと相談

▼日時…12月20日（水）午前10時～午後3時（午後1時からは、弁護士が相談を受けます）**▼場所**…村公民館**◎詳細**…村社会福祉協議会（☎49-3600）

■身体障害者巡回相談

▼期日…12月18日（月）**▼場所**…郡山市身体障害者福祉センター**▼対象**…肢体不自由者**▼**相談希望者は、住民課住民福祉係に事前連絡が必要です。**◎詳細**…住民課住民福祉係（☎内線233）

納付

▼固定資産税　4期分
▼国民健康保険税　6期分
▼国民年金保険料　11月分
◎納期限…11月30日（木）
※納期内に納めましょう。口座振替の方は、残高確認をお願いします。

寄付・寄贈

▼社会福祉事業のために（金員）…芳賀正訓（江竜田）青木正博（道少田）**▼ひだまり荘に**（車イス）…石井照也（木戸沢）

（10月受理分・敬称略）

こんにちは保健婦です

「健康日本21」がスタート

新しい健康づくり運動　その②



村山通子 保健婦

今回は、健康増進と生活の質の向上を目指した健康づくり運動「健康日本21」のうち、個人の生活習慣を改善していく具体的な「小目標」を紹介します。

一小目標」となる生活習慣改善9のテーマ

次に紹介する9のテーマは国民の数値目標を掲げていますが、自分の生活習慣を確認することができますので、当てはまるかどうか確認してみましょう。

①**栄養・食生活**…適正体重を維持している（人の増加）／脂肪エネルギー比率の減少／食塩摂取量の減少／野菜の摂取量の増加

②**身体活動・運動**…意識的に運動を心がけている（人の増加）／日常生活における歩数の増加

③**休養・こころの健康づくり**…睡眠を助けるために補助品やアルコールを使うことがある（人の減少）

④**たばこ**…たばこの健康への影響（肺がんを起こしやすいなど）について知っている（人の増加）／未成年者の喫煙をなくす

⑤**アルコール**…多量の飲酒をする（人の減少）／未成年者の飲酒をなくす

⑥**歯の健康**…歯の喪失防止のため、むし歯や歯周病を減らす

⑦**糖尿病**…成人肥満（者）の減少／日常生活における歩数の増加／質・量ともにバランスのとれた食事

⑧**循環器病（後遺症による生活の質の低下を招く）**…食塩摂取量の減少／カリウム摂取量の増加／運動習慣（者）の増加／高血圧の改善／たばこ対策の充実／高脂血症の減少／糖尿病の減少／飲酒対策の充実／健康診断受診者の増加

⑨**がん（総死亡率の約3割を占める）**…たばこ対策の充実／食塩摂取量の減少／野菜摂取量の増加／果物摂取量の増加／脂肪エネルギー比率の減少／飲酒対策の充実／がん検診受診者の増加

以上が「小目標」となる9のテーマです。このうち、「日常生活における歩数の増加」を取り上げてみると、男性は9千2百歩以上、女性は8千3百歩以上という指標が出ています。このように、より具体的な指標を知りたい方は、住民課健康衛生係（☎内線237）までご連絡ください。

休日当番医

11月26日（日）	
和田医院（棚倉町）	☎33－2012
車田病院（塙町）	☎43－1019
田中内科医院（石川町）	☎26－3333
12月3日（日）	
勝田医院（棚倉町）	☎33－3008
塙厚生病院（塙町）	☎43－1145
中島病院（石川町）	☎26－3415
12月10日（日）	
大木医院（棚倉町）	☎33－2424
金沢医院（矢祭町）	☎46－2312
浅川南診療所（浅川町）	☎36－3302
12月17日（日）	
東白川中央病院（棚倉町）	☎33－3263
東舘診療所（矢祭町）	☎46－3165
中島病院（石川町）	☎26－3415
12月23日（土）	
藤田医院（棚倉町）	☎33－2013
中島医院（塙町）	☎43－0373
大野病院（石川町）	☎26－1181
12月24日（日）	
あらまちクリニック（棚倉町）	☎33－8018
石川医院（塙町）	☎43－0003
中島病院（石川町）	☎26－3415
12月31日（日）	
緑が丘診療所（棚倉町）	☎33－9468
木村医院（矢祭町）	☎46－3528
大野病院（石川町）	☎26－1181

ごみ収集日

―12月―

■江竜田～中野町～福原～鍬木田～広畑～新宿～道少田～大塩
・可燃物…4.7.11.14.18.21.25.28.30
・不燃物…8.22

■さぎり荘～村営住宅赤坂中野団地
・可燃物…4.7.11.14.18.21.25.28.30
・不燃物…6.20

■鮫川中学校
・可燃物…4.7.11.14.18.21.25.28.30
・不燃物…7.21

■関下～越虫～青生野小～世々麦～葉貫～戸草～蕨ノ草～中沢～関口
・可燃物…6.13.20.27.30
・不燃物…6.20

■真坂～押目～酒垂～塚本～荻ノ沢～折戸～水口～官沢
・可燃物…6.13.20.27.30
・不燃物…7.21

■官代～遠ケ竜～大石草～大根屋敷～内ケ竜
・可燃物…6.13.20.27.30
・不燃物…8.22

■東前田～大久保～鬼越～赤柴～沼野沢～岩野草～薄ケ久保～石井草
・可燃物…6.13.20.27.30
・不燃物…15

※ペットボトル用指定袋は、不燃物と同じ日に収集します。



今月の表紙

10月15日に行われた「高原の鮫川うまいもの祭り」で、威勢よくステージに向かう「よさこいソーラン鮫川大会」の出場者。詳しくは18・19ページ。

お誕生

10月届け出分



長井優果（ゆうか）
平12.10.22生
住所／青生野
保護者／進

須藤舜介（しゅんすけ）　住所／名下
平12.10.20生　保護者／秀男

おくやみ

10月届け出分

住所	氏名	月日	年齢
江竜田	芳賀　洋郎	10. 6	82歳
道少田	青木　正隆	10.20	85歳

人の動き

10月1日現在・（ ）は前月比

人口　4,797人（＋8）
男　2,391人（＋3）
女　2,406人（＋5）
世帯　1,107戸（＋3）

※お誕生・おくやみのコーナーへの掲載を希望されない方は、届け出の際に申し出てください。

広報さめがわ
平成12年11月号（通巻562号）
■
発行・編集／鮫川村役場総務課
〒963-8401　福島県東白川郡鮫川村
大字赤坂中野字新宿39-5
☎(0247)49-3111　FAX(0247)49-2651
印刷／佐藤印刷所（塙町）

セピア色の思い出 ⑲



昭和7年3月

西野小学校卒業記念

提供／前田トシエさん（大字赤坂東野字官代・80歳）

昭和7年3月、西野小学校卒業記念に同級生一同で撮影したものである。今ではほとんどの人が他界し（戦死した人もいる）、生きている者は私を含め5人だけとなってしまった。時折けんかなどもしたが、気心の知れた素晴らしい仲間たちである。学校帰りは決まって道くさ。草花を摘みに野山を駆け回った思い出が、今でも鮮明によみがえる。　（前田）

後記 編集

▼中国から来た五人のお嫁さんを取材した。言葉が通じない、意思の疎通ができないということは、どんなに不安で苦しいことだろう…。初め、そんな思いが頭に浮かんだ。ある程度は日本語を勉強してきたということだが、日本に来て二年も経たないうちに、日常の会話はかなり上達した。ときには冗談も言う。みんな明るく、前向きに生きているという印象を受けた。▼佐藤義雄さんの家庭を取材したとき、お嫁さんの榮子さんが話した言葉が脳裏に焼きついている。「（日本の）お母さんが先生です…」　（舟木）